

タイトル

プラスチック廃棄物の回収に、セネガルのダカールのダイバーたちが奮闘

対訳

1 国連によれば、毎年 800 万トンのプラスチックが世界中の海へと放出されている。セネガルの首都ダカールでは、プラスチック廃棄物で満ちていく海洋への対策が進行中であり、これには、オーシャニウム (Oceanium) という名の下で活動するアマチュアダイバーのチームが幾分か貢献している。

2 酸素レベル制限の下では、ダイバーたちは海面下へは 1 時間しか潜れないが、その時間で可能な限りの海中廃棄物を収集する。これは気の遠くなるような大仕事である。ダイバーたちの努力が、大海への一滴の水にしか感じられないという懸念があるが、それは、セネガルが毎年 2.5 億トンを上回る廃棄物を大西洋に遺棄しているからである。

3 西アフリカに位置するこの国では、環境問題への取り組みは、貧困緩和のための活動に後塵を拝している。オーシャニウムは廃棄物収集の活動を行っているが、その最初の活動は 2 年前だった。目下、活動頻度を増やすことを目標としており、まずは 1 か月に 1 度、そして、資金次第で、週 1 回を目論んでいる。

4 セネガルは 2015 年には、ビニール袋の販売を禁止する法律を制定したが、4 年経過した現在で、まだその法律が施行されていない。ダカール沖合の観光地として人気のゴレ島は、とりわけ、この海洋汚染の影響を受けている。

5 ダイバーチームが行った最近の活動では、何百キロもの廃棄物を海から回収した。この取り組みはまだ始まったばかりであるが、マッキー・サル大統領が示す「廃棄物ゼロの国」という目標を達成するには、この先の道のりは非常に長い。